

報道関係者各位

令和5年7月28日  
山梨県教育庁生涯学習課  
課長 平賀 貴久子

令和5年度 フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」出発式について

次のとおり、令和5年度 フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」出発式を挙行政いたします。(詳細別紙参照)

〈出発式〉

- |        |   |
|--------|---|
| 1 日 時  | 令和5年8月 2日(水) 15:05~15:30  |
| 2 場 所  | 県立図書館 イベントスペース  |
| 3 参加者数 | 中学生32名、保護者、指導者他関係者 (約120名)<br>(内訳)<br>中学生 32名 (22中学校13市町)<br>⇒男女各16名【1年生14名、2年生14名、3年生4名】<br>指導者 15名 野外教育実践家、青少年協会職員、公立学校教諭、<br>大学生ボランティアリーダー、生涯学習課職員 |



4 事業概要

- |        |   |
|--------|---|
| ① 期 日  | 令和5年8月2日(水)~10日(木) 現地研修: 8泊9日   |
| ② 場 所  | 東京都八丈島  |
| ③ 参加対象 | 県内中学生32名(県内各地域より)   |
| ④ 内 容  | <b>現地研修 8月2日(水)~10日(木)〈八丈島 垂戸キャンプ地〉</b><br>・キャンプ生活、サバイバル踏破、ビバーク、スノーケル、<br>自主企画、環境教育等の野外体験活動<br>・八丈小中学生との交流<br>・八丈島の産業、自然、環境等の直接体験<br>①交 通 ・甲府~東京(バス) 東京~八丈島(船舶)<br>②宿泊地 ・八丈島垂戸キャンプ地 |

〈解団式〉

- |       |                          |
|-------|--------------------------|
| 1 日 時 | 令和5年8月10日(木) 20:50~21:10 |
| 2 場 所 | 竹芝客船ターミナル                |

〈事後研修会〉

- |       |   |
|-------|---|
| 1 日 時 | 令和5年8月20日(日) 8:30~16:30   |
| 2 場 所 | 八ヶ岳少年自然の家   |
| 3 内 容 | 現地研修の振り返り・八丈小中学生との交流(ほうとう作り)<br>※八丈町の小中学生32名が8/18~22に八丈町島外体験学習として<br>来県します。 |

【問い合わせ先】

山梨県教育庁生涯学習課 生涯学習・青少年教育担当  
副主幹 雨宮 圭一郎 TEL: 055-223-1774 (県庁内線 8368)

# 出発式

@山梨県立図書館 イベントスペース

## 1 事業経緯

本事業は、県内中学生を対象に、八丈島において、洋上研修と自然体験を行い、強靱な心身とともに、友情・連帯・奉仕の精神を養い、地域づくりに貢献できるリーダーの養成を図るために実施し、本年34回目を迎える。

八丈島における8泊9日間(船内1泊)の長期キャンプにおけて、8月2日(水)に出発式を行う。

## 2 本日の日程の確認

13:00	指導者集合
13:05~13:45	直前ミーティング
13:50~14:15	出発式の準備
14:20	バス配車(駐車場)
14:30~15:00	①参加者荷物受取(駐車場) ②参加者受付(ホール入口前)
<b>15:05~15:30</b>	<b>出発式</b>
15:35~15:50	保護者向け事務連絡
16:00	出発

## 3 次第

- 1 はじめのことば
- 2 課長挨拶
- 3 団長のことば
- 4 誓いのことば
- 5 健康観察
- 6 諸連絡
- 7 おわりのことば
- 8 いただきますの挨拶

# 解団式

**8月10日(木) 20:50~21:10**

@竹芝客船ターミナル

- 1 はじめのことば
- 2 団長のことば
- 3 参加者代表感想
- 4 VL代表の言葉
- 5 諸連絡

# 事後研修

8月20日(日)

@ハケ岳少年自然の家

- |       |       |     |
|-------|-------|-----|
| 8:30~ | 9:00  | 受付  |
| 9:00~ | 10:45 | 反省会 |

**11:00~15:30 八丈小中学生との交流(ほうとう作り&冒険ハイク)**

**15:30~16:15 お別れ会・集合写真**

16:30 解散

## 実 施 要 領

### 1 趣旨

この実施要領は、フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」の実施に際し、必要な事項を定める。

### 2 ねらい

参加者の生命の安全・健康の保持を第一として、以下を基本として指導する。

- ① 自ら考えて判断し、解決する姿勢を育む。
- ② 自発性・創造性を育む。
- ③ チャレンジ精神を育む。
- ④ 自然環境についての考えを深める。

### 3 指導内容

#### (1) 「自然を知り、自然環境を考える」

自然の美しさ・偉大さに触れ、自然の中で生きる姿勢や自然を大切にすることを養う。

#### (2) 「仲間と生きる」

集団生活をとおして仲間意識を養い、仲間と共に生きる喜びを体験することにより友情・連帯・奉仕の精神を培う。

#### (3) 「生活の基本を学ぶ」

キャンプ生活での体験をとおして、日常の便利な生活や家族に感謝する心を養うとともに、生活の基本技術やマナーを学び、厳しさの中で、忍耐力や開拓心を養う。

#### (4) 「海洋体験をする」

海辺の生活、フィッシングワーク、船旅、海洋訓練など、県内では味わうことのできない海洋の体験により、チャレンジ精神を養う。

#### (5) 「八丈島を知る」

八丈島サバイバル踏破等をとおして、島の自然・歴史・文化・環境・人・生活などを知り、他者理解を深め、探求心を養う。

#### (6) 「成就感を味わう」

厳しい自然の中での体験活動をとおして、自己判断・問題解決の機会を多く経験したり、各自が多様な能力の発見に努め、成就感を味わったりすることにより、生きる力を培う。

令和5年度「やまなし少年海洋道中」現地研修活動プログラム ―簡易版―

【現地研修】

	8月 2日・水	8月 3日・木	8月 4日・金	8月 5日・土	8月 6日・日	8月 7日・月	8月 8日・火	8月 9日・水	8月10日・木
	出発の日	開村の日	海洋の日	交流の日	サバイバルの日Ⅰ	サバイバルの日Ⅱ	自主の日	閉村の日	離島の日
午前	—		<b>漁業体験活動</b> ①漁業体験 ※漁船クルージング  ②漁業体験 ※くさや工場見学	交流会 ※八丈の小中学生との交流	八丈島 サバイバル踏破  一日目	八丈島 サバイバル踏破  二日目	自主企画 ※各班で考えた企画書で活動  事前研修にて検討	ベースキャンプ 撤収 (テントの片付)	離島式  船移動 八丈島～ 竹芝棧橋 9:40 ～20:40  バス移動 竹芝棧橋～ 県内各地 21:10 発～
午後	<b>出発式</b>  甲府～ 竹芝棧橋 バス移動 16:00～ 18:30  竹芝棧橋～ 八丈島 船移動 22:00～	ベースキャンプ 設営 (テント設営) ※班ごと自分たち でテントを設営	スノーケリング① ※水深2m～5mの 海での活動  底土海岸 神湊海水浴場	環境の時間  サバイバル踏破 準備	※八丈島一周(約 50km)を歩いて踏 破する活動		スノーケリング② ※水深2m～5mの 海での活動  底土海岸 神湊海水浴場	レセプション 伝統文化 (八丈太鼓) 夕食会 スタンプ	大月到着 22:30 笛吹到着 23:10  県庁到着 23:40～
備考	船中泊		野外泊 (電気のないテント生活) 班活動での自炊		八丈島各地での 班ごと野外泊 自炊		野外泊 (電気のないテント生活) 班活動での自炊	小学校での宿泊	—

# 八丈島ででっかい体験してきました!

## ～参加者の声～

違う学校の人でも気兼ねなく話せたり、チャレンジウォークで予定よりずっと早くゴールできたり、どれも、自分一人ではなく、みんなの努力や協力の力だと思いました。学校生活とは全く違う新しい経験をする事ができました。海洋道中に参加し、自分でも自分への考え方が180度変わったと思います。これからの受験も、人との接し方についても、八丈島で変わったこの心で、ゆっくり考えてみたいと思います。 【3年生男子】



僕が八丈島で一番心に残ったのは、チャレンジウォークです。その中で何より感動したのは、温泉と大坂トンネルからの眺めです。みんなで励まし合い荷物を分担して持ったりしながら上り切った大坂トンネルからの眺めは、海に浮かぶ八丈小島と僕たちが歩いてきた道とが、太陽で輝いて見えました。この眺めは一生頭に残ると思います。温泉では、人の優しさで4日ぶりのちゃんとした風呂に入ることができて、最高でした。股ずれや歩き過ぎなどで、風呂はピリピリして痛かったのですが、久しぶりに家族以外の友達と入った風呂は、とても楽しかったです。また、温泉にいた人に差し入れてもらい、みんなで風呂上がりに飲んだジュースは、普段より格別においしかったです。 【2年生男子】

私は人との交流にあまり積極的ではなかったが、協力しなければいけないものがほとんどで、この活動を通して人との協力の大切さを知って、前より積極的に話しかけたり感謝の気持ちを伝えられたりするようになった。テント生活では硬い地面で寝なくてはいけなかったり、洗濯もいつもできるわけではなかったりと、家ではないようなことをして、普段当たり前だと思っていた生活は当たり前ではなく、すごく恵まれたことなんだと、この体験で知ることができた。初めて海を見て泳いだら、魚が群れをなして泳いでいてきれいだったり、高い波では少し溺れそうになったりと、自然の美しさと怖さ、両方とも肌で感じることができた。 【3年生女子】



大坂トンネル、ホテル水源と、壮大な自然の中のウォークは、本当に気持ちよかったです。班のみんなで他愛もない話をしたり、じゃれあったり、良い仲間に出会えたことをかみしめながら、ひたすらゴールに向け歩きました。約40kmのウォーク。自分一人だったら絶対あきらめていました。でも、このウォークには仲間がいました。仲間がいたからゴールできました。先に着いていたチームが拍手でお出迎えしてくれ、先生方も笑顔で迎えてくれました。今までにない達成感と疲労感が、とても気持ちよかったです。 【1年生男子】

クルージングでは、漁師さんが船を出して、沖の方まで行ってくれました。波の高いところでは波が船に当たって、たくさん水しぶきがきました。海を見ていたらトビウオが色んなところで飛んでいて、実際に生で見たのは初めてだったので、良い経験になりました。クルージングが終わって漁船を降りると、漁師さんがイカをさばっていて、要らない部分をくれて「海に投げるとウミガメが食べにくるよ」と教えてくれました。海に投げたらウミガメが4匹くらい食べに来て、とてもかわいかったです。スノーケリングでは、ブルーアーチの方々に教わりました。海はとてもキレイで、魚がすぐ近くを泳いでいました。たくさんの種類の魚が泳いでいて、八丈島はとても生命が豊かだなと感じることができ、良い経験になったし、また八丈島の海で泳ぎたいなと強く思いました。 【2年生男子】



普段、美味しく食べている食事でも、一から薪を切り、火を焚き、色々と大変でした。でも、時間をかけてみんなで一生懸命作ったご飯は、とても美味しかったです。毎日、食事を作ってくれているお母さんやお父さんに改めて感謝しようと思いました。スノーケリングでは、海水が冷たかったけれど、海の魚はきれいで、群れで泳いでいる姿は感激でした。何より、みんなで海に飛び込んだ時は、八丈島の海を満喫することができました。 【2年生女子】



私はプールで飛び込みをしたことがありましたが、あんなに高い所から海に入ったことがなく、初めはドキドキでした。でも、1回やってみれば楽しくて、何回もやっていました。班でも何度も飛び込んで、とても楽しかったけれど、最後に班全員で手をつないで一斉に飛び込む時は、前に飛んだ時よりも滞空時間が長く、落ちた時とてもビックリしました。 【2年生女子】

父や母が今までしてくれていたことのありがたみ、冷蔵庫や洗濯機のすばらしさ、明かりのない夜の暗さと月や星の明るさ。そして、一人で、自分の力だけで生きているのではないのだと深く感じました。やはり、この体験、学び、思いなどは、やまなし少年海洋道中に参加しなければ得られないものだったと考えています。 【3年生男子】



興味をもった人は、ぜひ、次年度の「やまなし少年海洋道中」へ参加してください!  
あなただけのでっかい体験が待っています。